

『塙保己一ことども』は、群書類従の版木を保管する公益社団法人「温故学会」が発行された小冊子です。温故学会のご協力をいただき、その中身を、会報に掲載させていただいています。子供からお年寄りまで読みやすく分かりやすいお話です。

塙保己一 ことども (提供：公益社団法人 温故学会)



理事長 齊藤幸一氏

塙保己一の収入と借金

塙保己一の生涯における収入はどのくらいあったのでしょうか。もちろん正確な金額は分かりませんが、残された記録から考えてみます。

まず、水戸藩からの月俸が年二十両で三十年間(六百両)、幕府からの和学講談所永続手当として年五十両を二十六年間(千三百両)、同じく別手当として年百五十両を八年間(千二百両)、各種編纂手当として年五十両を十四年間(七百両)幕府関係から受けています。さらに検校手当(当道座から)を年五十両で四十年間(二千両)、合計すると五千八百両ほどになります。

では、借入金はどうなのでしょう。保己一の孫である塙忠韶が残した『水母余韻』によると、大坂の鴻池、千葉屋安兵衛におおの二千両の借金が残されているとあります。このほかにも、増本屋安兵衛、山田屋喜右衛門、伊勢屋金五郎、江戸の札差などから借り入れています。さらに、幕府からも拝借金という名目で千六百両ほど借り入れています。

ただし、借用証文を取り交わしていますが、借金を完済すれば、破り捨ててしまうので、実際の借金額は不明です。借入金の使用目的は、和学講談所の人件費(版木の彫刻・刷代)や書籍購入費、調査研究、編集出版費用に充てられました。保己一にはおそらく8千両(現在の八億円)程度の借金があったものと思われます。保己一の時代に借金は返済できず、息子の次郎(忠宝)が受け継ぐこととなります。

なお証文の一部が塙保己一記念館(本庄市児玉町)に残されています。

顕彰会への加入・継続をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、平成19年7月26日に市民参加による顕彰会として発足いたしました。顕彰会では、塙先生の遺徳と事績を広く顕彰し、その精神の普及を図ります。毎年、命日の9月12日に塙先生の遺影に菊の花を捧げる顕彰祭を開催するほか、説明会など各種啓発事業を行っています。

みなさまのご加入・会員継続をお待ちしております。

年会費 個人会員 1口 1,000円、賛助会員(団体) 1口 10,000円

入会と会費納入の受付場所 本庄市役所4階生涯学習課と本庄市児玉文化会館〈セルディ〉アスパアこだま内の児玉公民館で受け付けています。

※ 郵便振替でもお申込みいただけます(ご希望の際には、下記へご連絡ください)。



発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館〈セルディ〉内

所在地 〒367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成して頂いています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

そうけんぎょう はなわ ほきいち せんせい いとくけんしょうかい

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第44号

令和4年9月号



ごあいさつ

ことは例年になく梅雨が早く過ぎ去ったせいか、厳しい暑さもより長く感じられます。会員のみなさまには、体調に十分ご留意いただきたく存じます。

さて、5月28日には当顕彰会総会を開催しましたところ、みなさまのご協力のもと滞りなく終了することができました。総会の講演では、金屋小学校 川田博樹校長先生による学校を挙げての顕彰活動発表会「はなわフェスティバル」のご報告をいただきました。金屋小学校では日頃から各学年での授業に塙先生の業績を学ぶ企画を取り入れ、東京都渋谷区の温故学会を見学するなど熱心に顕彰活動を行われていますが、上記のフェスティバルは今年3月8日に塙先生没後二百周年を記念して挙行されたものです。折しも新型コロナウイルス感染症の影響によりせっかくの発表の場でありながら保護者の方々の参観が臨めないなか、学んできたことを一所懸命に発表する児童や労をいとわず何日も準備に尽力してくれた先生方を想いやり、言葉を詰まらせながらも熱心に報告される校長先生の言葉・姿に会場も感動に包まれました。このような人々の思いにより顕彰活動が成り立っていると強く感じた出来事でした。

みなさまにも今後とも顕彰活動へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会長 吉田 信 解

— 塙保己一先生に皆で献花を —

9月12日は、塙先生の命日です。

顕彰祭へご参加をお待ちしております。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会では毎年、先生の命日である9月12日に顕彰祭を行っています。ことしも下記のとおり開催いたします。

郷土の偉人である塙保己一先生の遺影に菊の花をたむけ、遺徳を偲ぶ催しにぜひご参加ください。会員以外の方もご参加いただけます。

ご来場お待ちしております。



日 時

9月12日(月)

午後1時30分 受付

午後2時 開式

会 場

本庄市児玉文化会館セルディ ホール

内 容

主催者・来賓による献花

来場者全員による献花

講 演

演 題 塙先生没後二百周年記念
顕彰活動を振り返る

講演者 吉田 信解 会長

※新型コロナウイルスの感染対策を行い開催します。

状況により開催できない場合は本庄市ホームページに掲載します。

令和4年度顕彰会総会を開催しました。

さる5月28日(土)児玉文化会館セルディにて顕彰会総会を開催しました。総会では、令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画・予算案審議が行われ、異議なく原案どおり採択されました。

その後の講演では、表紙の記載のとおり金屋小学校 川田校長先生による全校挙げての塙先生顕彰活動報告が行われ、会場は感動に包まれました。



令和4年度塙保己一賞の開催について

埼玉県では、塙先生のように障害があっても活躍する人たちを表彰する塙保己一賞を今年度も開催します(本庄市共催)。スケジュールは以下のとおりです(詳細は、次回の会報誌でお伝えします)。ご期待ください。

○候補者募集

障害があっても国内に在住し活動する人で社会的に顕著な活動をした人、今後も期待される45歳未満の人や顕著な支援者・団体を募集中です。詳細はセルディ、または市役所生涯学習課窓口のパンフレットや埼玉県ホームページで「塙保己一賞 募集」を検索。8月31日締切。

○表彰式開催

12月17日(土)の予定。会場は、セルディです。

塙先生ゆかりの品 紹介

かざり た ち

飾太刀

― 検校昇進記念に ―

地元にて奉納 ―

塙保己一先生は、本人の努力と人柄、周囲の人々の支えにより当道座（盲人の階級組織）において昇進を重ね、天明三年（一七八三年）には検校の位に就きました。

これを記念して塙先生が保木野の生家にはど近い御霊稻荷神社に奉納したのが今回紹介する飾太刀です。

飾太刀とは、実用的に用いられた本身（刀身）のある刀とは異なり儀式用などに用いられたもので、束（握りの部分）と鞘（さや）をつなぐように短い鉄芯が入っているものです。現在では、時を経て茶褐色な、歴史を感じさせる色合いを帯びていますが、奉納された当時は鮮やかな金色を放っていたと想像されます。（東京国立博物館にも類似の作りの飾太刀が収蔵されています。）

また、収められていた木箱には、「奉納稻荷大明神御寶前」と箱書きがされています。

最近では、本庄市文化財保護課により、くん蒸処理をされた後、4月26日から5月29日までの間、塙保己一記念館に展示されていました。今後も展示予定がある場合には皆様にお知らせできればと思います。

（← 収められていた木箱）



大正時代の瓦製 塙先生座像が

金屋小学校で発見されました

地元における塙先生の顕彰活動の足跡の一つとして各所の施設に設置されている瓦製の塙先生座像が挙げられます。かつての地場産業が瓦製造であり、昨年の塙先生没後二百周年の際に大小様々な瓦製座像が株式会社エンマンジにより小中学校や市役所などに寄贈されたことも記憶に新しいところです。

地元の金屋小学校にも学校の入口に以前からすでに瓦座像が設置されていましたが、このたび、確認されている一番古い大正五年製の瓦製座像（龍清寺所蔵）に次ぐ古い座像が金屋小学校で発見されました。金屋小学校校長室の書庫の中に大事にしまわれていたものが見つかったもので、高さは22cm、幅は28cmほどあります。製作は、前述の株式会社エンマンジの現在の当主の先々代によるもので、座像の内部には、



座像の内側の銘

「大正六年三月二十一日 金屋村大字長沖 大島彫刻」と銘が刻まれています。